

タットン会 通信

2004. 11. 20

日時・場所のみの連絡先 よこすかボランティアセンター 046(825)0017 まで

第28回目 10月16日、県立保健福祉大学において（60名弱の参加）
タットン大会（何回ラリーを続けられるか）第2回目が行われました。
バドミントンの部に16チーム、卓球の部は9チームの参加。

今回は、新記録は出なかったものの、ひとつのペアが行っているときは**みんなで観戦**。やっている方も見ている方も試合と同じ緊張感を味わえることが出来たのではないのでしょうか？

今回の最高持続回数は

バドミントンの部	白鳥・浅羽組	74回	菅原・星組	59回	藤岡・高橋組	52回
卓球の部（往復で1回）	林・阿部組	69回	井上・平沢組	41回	（すごいスピードラリーでした！）	
風船バドミントンの部	麻里奈・母組	26回	（4才から始め3年目、素敵な親子です！）			
卓球ネットなしコロガシの部	一仁・林組	3回	（とっても良くボールに集中していました！）			

—— でした！

ボランティアって！？

— 感想用紙から～

「～初めて参加したのは3月なのですが、参加した後タットン会に行くのをやめようと考えていました。…理由の一つに、初めてボランティアに参加する人にとっては『良いボランティアにならなくては…』『自分のやり方で良いのだろうか？』『きちんと子供達と接することが出来なかったら…』などと戸惑い、大きな壁となりその気持ちをそのまま家に持ち帰る…。

自分の中で、**ボランティアが何なのか？**よく分からなくなってしまった。…結局、ボランティアに行ったという自己満足だけで終わってしまった気がして、そんな気持ちのまま次のタットン会に行っても失礼だと思ったのです。…その後、勇気を振り絞って参加し5月のタットン会で『自分たちも手探りの状態でやっていて…』と言うのを聞き、良いボランティアなんて目指さずに**一緒に過ごして**いだけに行こうと思ったのです。それ以降は『ボランティアに行くぞ』という変な構えはなくなり、行くのが楽しみの一つになりました。

良いボランティアの形はある程度あるのだと思うのですが、タットン会の場合は**一緒にいるだけで**ボランティアの役目を果たせるという素晴らしい面を持っているのだと思います。

…戸惑いを少しでも減らしてあげられるような、深く考えることを止めてくれるようなメッセージをボランティアの専門である方からいただいたら、とても大きな支えになると思います。私は、タットン会が大好きです。多くの人にタットン会の素晴らしさを知って欲しい、タットン会を誤解したままにして欲しくない、その思いから書かせていただきました…」(H・T)

—— という感想をいただきました。

ボランティアの専門？の方がおりましたら、私も聞きに行きたいところです。でもそれは、誰でも**皆様心の中**にあるもので色々な色や形をしていることと思います。

しかし、せっかく興味を持って来て下さったボランティアさんが一度きりで顔が見られなくなってしまうことに寂しさと不安を持っていただけに、私にとっては光をいただいたメッセージでした。

部活動の顧問をやっている『一生懸命真剣な姿や笑顔』を見られることに喜びを感じている。タットン会のスタート時では、それと同じような気持ちでやっていました。



ところが、タットン会の場合は普段スポーツにふれる機会があまりない人達との出会いの為か、その笑顔ひとつ一つが私にとっては、大きな『**勇氣**』となっているのです。

ところが、今タットン会に足りないことの一つとして、ボランティアさんの迷いや悩みを踏み込んで聞き出すこと、このままタットン会を続けることになれば必然的にお子様達の数は増えていくが、一緒に楽しんでくれる仲間（ボランティアさん）の数は？となると、今のままでは四苦八苦の状態になるのは目に見えてきます。

そこで、学生さんからもヒントを得、今日からの取り組みとして『可能な限り、お互い二人以上のグループ』を作って取り組んでみても良いかなと思っています！

そして、縦（お子様達）と横（ボランティア同士）の関係をも少しずつでも大切にしていかななくては！と、強く思います。

また、県ボランティアセンターの方から『長く続けるためには、会則というものも必要！』というアドバイスも受け、『**会則**』の提案もしていきます。

これからも地道に、未永く活動出来るボランティア団体を目指して、多くの方々のご意見やご支援をお願いいたします。

参加者の声・お子様カード 今日やったこと、出来たこと、気づいたこと～より

- ・ タットン大会、ひとカップルずつのラリーを皆で見ての観戦でしたのに、飽きてしまうことなく見入っていたのが印象的でした。そして、自分の番が来るのを楽しみにしている我が子の姿に、嬉しくなりました。皆に見られていると感じながら、自分の番を終えたときの満足そうな顔。今日は母体調不良ながら連れてきてあげて良かったな！と思いました。ボランティアさん有り難うございました。（Oさん）
- ・ …ラリーをしたり他の人の様子も見たり、まだまだ周りを見ることの意識はほとんどないうちの子には新しい経験だなと感じます。休み中は家でゴロゴロしていることが多いので、月に1回のこの会は貴重です。
- ・ 何回続くか目的を持って出来たので、いつもより前向きに取り組めたようです。他の人のプレーを応援しながらとても楽しい時間を過ごすことが出来ました…。（Tさん）
- ・ …風船がどうしてもダメで、一つでも誰かが持っている会場に入れず…。この恐怖何とか軽減したいのですが、難しいですかねー。（Hさん）

—— ごめんなさい、たくさんの感想や気づきのコメントをいただきながら、紙面の都合上ほとんど載せられず申し訳ありませんでした！ ——

第29回タットン会 本日11月20日の流れ～ 県立保健福祉大学

- 9:00～ 準備・受付
- 9:30 ペアになって、カード読み・聞き取り
- 9:30頃 本日の説明 体操（ディズニーorラジオ体操）、各種目へ
- 10:20 休憩（出来る限りお子様を視野に入れて休憩して下さい!）
- 10:40～ 後半の部開始 可能な限り試合に近い形でやってみましょう!
- 11:10頃 パラシュート みんなで一緒に!
- 11:20頃 集合隊形に 『手話コーナー』・けがの確認・今後の予定
- 11:40頃 片づけ・モップ、解散です!



《 今後の予定 》

29回目 11/20 県立保健福祉大学（本日）

30回目 12/18 上の台中学校決定!

2005年

31回目 1/15は サブアリーナ決定!

32回目 2/26はサブアリーナ 予定

33回目 3/26はメインアリーナ 予定

※ 場所については決定しだいお知らせ致しますが、タットン会通信又は表面上記のボランティアセンターにてご確認下さい!

タットンかず

※ 募金集計 5・6月分 8,631円 7・8・9・10月分 3,867円 計 12,498円